



景気回復、この道しかない。

私は現実から目をそらさない。理想を忘れない。
 実行可能な具体性のある政策を、私は断行します。
 アベノミクスは道半ばです。地方経済再生に全力で取り組みます。
 必ず、地方経済再生を実現し、豊かな地方へと変えます。

政策実行力を持つ私 土井とおる に、
 地方創生への挑戦を任せてください。

やがて子孫の時代になる。 だから、絶対に諦めない。

土井とおる8つの誓い

- 地方に繋がる景気浮揚で雇用を増やし地域経済を立て直す
- 年金・医療・介護・子育て支援で安心の社会保障制度をつくる
- 被災地に特化した「復興」の加速化をやり遂げます
- 身を切る改革・議員定数削減は当然であり、説明出来る行財政改革の推進
- 日本に誇りを持ち、人を愛する心と学力向上をめざす教育改革
- 脱原発に向けての再生可能エネルギー政策の明確化
- 対等な強い外交
- 日本再生の為の新憲法制定

土井とおる 略歴 昭和33年8月12日生まれ
 仙台城南高等学校(東北工業大学電子工業高等学校) 東北学院大学法学部卒
 宮城県議会議員(3期)、衆議院議員(2期)、自由民主党宮城県連幹事長
 自由民主党宮城県連会長、自由民主党宮城県第一選挙区支部長、国土交通大臣政務官



自由民主党
 衆議院小選挙区選出議員候補

土井とおる 56歳



民主党公認
 宮城1区候補者

郡 和子

女性や子育てに、社会を変えたい。国民を犠牲にするような政治を、めざさず、子育て、介護、教育、福祉の現場へ、国民に身を投じて10年。女性や子育ての現場へ、アベノミクスで更に増加してほしい。格差は拡大する一方。今こそ、子育ての現場へ政治へ注ぎ、変える時。暴走を止める。暮らしを守る。未来を創る。これが私の決意です。

郡 和子

全ての世代に安心を。

復興を加速する。

暮らしを立て直す。

雇用を守る。

すべての人が主役の政治へ

プロフィール

1957年 仙台市生まれ
 1969年 仙台市立長町小学校卒業
 1969年 仙台市立長町中学校入学
 1972年 秋保町立秋保中学校卒業
 1975年 宮城県第二女子高等学校卒業
 1979年 東北学院大学経済学部卒業
 東北放送入社 解説委員、報道制作局部長等
 2005年 衆議院議員初当選(3回連続当選)
 復興大臣政務官、党副幹事長等を歴任
 夫と娘(宮城学院大学卒)との3人暮らし



詳しい政策は郡和子ホームページへ

消費税10%「先送り」ではなく **キャパ中止**に

暴走ストップ！ 政治を変えよう



- 財源は
- 富裕層と大企業に応分の負担を求める税制改革
 - 大企業の内部留保を活用し、国民の所得を増やす経済改革による税収増

国民の声が届く政治に

消費税に頼らない道に進んで **暮らし優先の経済に転換します**

- 1 人間らしく働ける 雇用のルールを
● 派遣法の改善せず、正規雇用を原則に● 過労死をなくす● 中小企業支援と低賃金の大幅引上げ
- 2 年金、医療、介護、教育を「切り捨て」から「充実」に
● 低すぎる年金を底上げし、減らない年金に● 医療費の窓口負担、国保税の軽減● 特養ホームも保育所も待機ゼロに● 先生を増やし「35人学級」に● 返還不要の奨学金を創設する
- 3 農林水産業と中小企業の振興 TTP交渉からたぐいに撤退
● 米価の暴落に緊急対策● 価格保障と所得補償で農業再生● 魚価の安定、水産業の販路確保支援● 外形標準課税による中小企業への増税ストップ

復興 支援の不足・制度の欠陥を被災者の声でただして加速

- 被災者の医療・介護の免除再開● 災害公営住宅の建設促進・家賃の軽減● 中小企業と商工業者の再開支援を強化● 鉄路の全線復旧

憲法 集団的自衛権行使の閣議決定は撤回

原発 女川原発の再稼働ストップ

放射能のある廃棄物処分場 水源地域への建設は撤回に

企業献金も政党助成金も受け取らず、国民の立場で筋を通す

比例代表は **日本共産党** とお書きください



松井秀明のフェイスブック▶ <https://www.facebook.com/matsuihideakijimusyō>



日本共産党
 宮城1区候補者

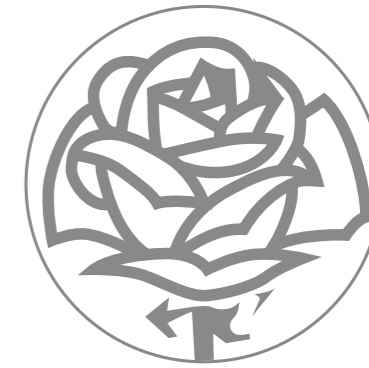
松井 秀明

(46歳)

くらしを壊して格差を拡大、景気を悪化させたアベノミクス。被災地復興の最大の妨害は消費税増税でした(「河北新報」11月6日)。

三党合意(2012年6月21日)で増税を決めた自民・公明・民主に、きびしい審判をくだしましょう。

(略歴) 九六年生まれ。仙台市立高橋南高等学校卒業。北海道で中学校教師。党1区支部長、教育相談室長。



12月14日(日)は、 衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査の 投票日です。

- ◎投票日当日、投票ができないときは、期日前投票または不在者投票をしましょう。(12月13日(土)まで)
- ◎投票所の入場券が届いていない場合やなくしてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されているご本人であることが確認できれば投票できます。

衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査については、
宮城県選挙管理委員会ホームページをご覧ください。

宮城県選挙管理委員会

検索